

京都教区時報

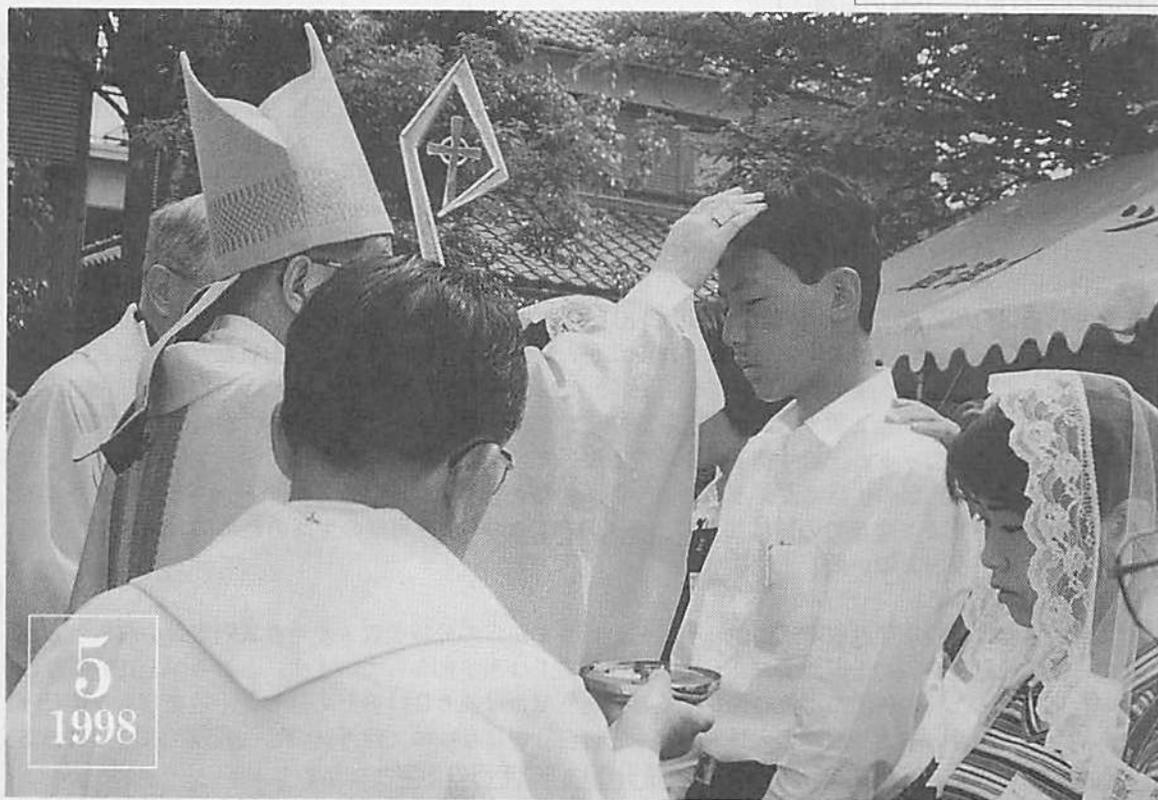
発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
編集用 TEL・FAX
077-527-6800
(滝野)

2～4頁 1997年度カトリック京都司教区会計収支報告

5頁 田中司教が語るエピソード (2)

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジ
ナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さ
んまで申込み

TEL・FAX 0794-31-8601



5
1998

堅信の秘跡

◆信仰宣言

洗礼の時の約束を新たにして信仰宣言を行います。堅信は洗礼を完成させる秘跡だからです。

◆按手と塗油

司教は、一人ひとりに按手しながら額に聖香油を塗り、「父のたまものである聖霊のしるしを受けなさい。」と言って堅信の秘跡を授けます

按手は、聖霊がお下りになるように祈る動作であり、塗油は、霊を注がれることを表しています。イエスご自身が、救いの使命のために聖霊の塗油を受けた方、すなわちキリストです。わたしたちも聖霊を受けるしるしとして聖香油が塗られます。

こうして、約束された助け主、真理の霊が御父からのたまものとして与えられ、わたしたちは、三位一体のいのちにいっそう深く結び、そのからである教会を建てる者となります。

(堅信式のしおりより)

「写真は昨年(1997年)の安土セミナーオ跡での合同堅信式」

1997年度カトリック京都司教区会計収支報告

いつも京都教区のために、信徒の皆さまからのお祈りや経済的援助を賜わり、感謝申し上げます。また、各小教区・修道院・学校施設の各位からの特に財政面からの寛大なご協力にも感謝申し上げながら、1997年度カトリック京都司教区の会計収支報告をいたします。

【所轄庁への書類提出義務】

皆さまご存じの通り、宗教法人法改正に伴い、財産目録、収支計算書等を今年から所轄庁である文化庁に提出することになりました。また、収支計算書は所轄税務署にも提出することになりました。正しい報告のためにより一層皆さまのご協力を賜わりますよう、お願い申し上げます。

上記の理由から、今年度の会計収支報告は、教区本部会計だけでなく、小教区会計もあわせてご報告致します。いくつかの点にしばってコメントさせていただきたく思います。

【小教区納付金A—15%のお願い】

*昨年より、小教区納付金A(教区賦課金)として、教会維持献金とミサ聖祭献金の15%をご協力くださるようお願いしております。小教区会計収支報告書の経常収入のうち、教会維持献金232,041千円とミサ聖祭献金48,501千円の合計の15%である42,081千円が、教区会計収支報告書の経常収入の小教区納付金(A)の額と一致するはずですが、4,203千円不足となっています。各小教区からの小教区納付金(A)へのご協力を重ねてお願い致します。

【司祭給与分担のお願い】

*教区会計経常支出の人件費の項をご覧になるとお分かりになると思いますが、司祭給与として毎年67,543千円かかります。これに対して、司祭給与分担金である小教区納付金(B)は、40,743千円にとどまり、不足分の2,680万円が、教区からの持出し分となり、教区財政を圧迫しています。1996年度は支給額の45%を各小教区でご協力いただきましたが、1997年度は約60%をご協力いただいたこととなります。皆さまのご協力で深く感謝しつつも、まだまだ厳しい状況であると申し上げなければなりません。

*司祭給与は3年間据え置き、月額158,500円ですが、このような状況から、司祭に対しては、今年中に給与の全額カットと、給与値下げを予定しています。また、今年度中に、すべての信徒が、小教区で働くすべての司祭の生活に支える、という基本的な理念で司祭給与を分担するシステムに移行することを考えています。今までの額に加えて、一人月額1,000円余を司祭の生活のためにお捧げくださることを目標にご協力お願い致します。

【総合的に】

①1997年度は、特に司教叙階式に伴う小教区の皆さまからの分担金収入や司教叙階寄付金収入のおかげで、次期繰越金を5940千円残すことができ、報告書上は黒字になっています。ところが、1997年度だけの行事であった司教叙階勘定その他を除くと(特別献金は通り抜けのため除外、土地売却も今年だけの事柄なので除外、また墓地勘定・特別勘定も一般会計ではないので除外)、教区会計収支は、211,526千円の収入に対し、支出は225,188千円で、差引き13,662千円の赤字となります。

②1997年度の全支出のうち、人件費(司祭・教区職員・小教区職員)の占める割合が59.5%となっています。このまま厳しい状況が続けば、特に経済的な面から教区としても人員削減等を考えなければなりません。宗教法人法改正等で事務量が圧倒的に増えていること、今後の福音宣教活動のことを考えると、規模縮小を本腰を入れて考えねばなりません。

③特別勘定のうち、司祭の養成基金である「一粒会」収入は、1996年度と比べて3,484,000円の減収となりました。1997年度は、司教叙階式もあり、また、社会も厳しい経済的な状況でしたが、このままでは、京都教区の神学生は2人しか神学校に送れない状況になります。一人でも多くの方が「一粒会」への献金に加わってくださいますよう、お願い致します。

④資産支出のうち、建設勘定は、経常収入の建設分担金収入と同額であり、これは、小教区の設備工事等の金額です。各小教区が法人格を持たないため、教区本部を経由して工事代金の支払が行われた結果です。

文責：森田直樹

京都司教区 1997年度 教区本部会計収支報告書

自1997年1月1日 至1997年12月31日

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
I 経 常 支 出	216,804	I 経 常 収 入	222,168
1 福 音 宣 教 活 動 費	25,558	1 納 付 金 収 入	167,847
祭 儀 費	191	ミサ奉納金納付金	651
教 育 養 成 費	6,934	司 教 司 牧 納 付 金	4,629
諸 委 員 会 活 動 費	962	司 祭 司 牧 納 付 金	11,266
教 区 事 業 活 動 費	13,105	小 教 区 納 付 金 (A)	37,878
諸 活 動 団 体 補 助 金	2,674	小 教 区 納 付 金 (B)	40,347
会 議 費	1,502	小 教 区 納 付 金 (C)	47,332
函 書 費	190	小 教 区 納 付 金 (D)	423
		修 道 会 納 付 金	7,867
2 寄 付 金 支 出	0	建 設 分 担 金 収 入	17,454
3 特 定 献 金 支 出	17,015	2 寄 付 金 収 入	31,690
		一 般 寄 付 金 収 入	4,236
4 人 件 費	155,212	収 益 部 門 収 入	18,502
司 祭 司	67,543	そ の 他 の 寄 付 金	8,952
教 区 職 員	40,337		
小 教 区 職 員	47,332	3 補 助 金 収 入	5,616
		ロ ー マ 補 助 金 収 入	3,496
5 維 持 管 理 費	9,130	高 齢 者 雇 用 促 進 補 助 費	2,120
6 事 務 管 理 費	9,889	4 特 別 献 金 収 入	17,015
II 墓 地 勘 定 支 出	2,128	II 墓 地 勘 定 収 入	5,651
墓 地 管 理 費	2,128	永 代 使 用 料 収 入	3,773
		管 理 収 入	1,878
III 特 別 勘 定 支 出	9,959	III 特 別 勘 定 収 入	12,701
一 粒 会	6,046	一 粒 会	8,610
ア ジ ア 基 金	256	ア ジ ア 基 金	434
一 万 匹 の 蟻	3,657	一 万 匹 の 蟻	3,657
IV 叙 階 式 勘 定 支 出	6,515	IV 叙 階 式 勘 定 収 入	15,192
		小 教 区 分 担 金 収 入	3,000
		司 教 叙 階 寄 付 金	12,192
V 資 産 支 出	25,399	V 資 産 運 用 収 入	10,981
建 設 勘 定	17,454	預 金 利 息 収 入	6,321
建 物 付 属 品	3,759	土 地 売 却	4,660
什 器 備 品	4,186	預 金 取 崩	0
VI 予 備 費	0	VI 雑 収 入	52
支 出 計	260,805	収 入 計	266,745
次 期 繰 越 金	5,940		
支 出 合 計	266,745	収 入 合 計	266,745

京都司教区 1997年度 小教区会計収支報告書

自1997年1月1日 至1997年12月31日

(小教区数: 59)

(単位: 千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
経常支出の部		経常収入の部	
(宣教司牧費)	78,019	(信徒通常献金)	298,499
祭 儀 費	20,388	教会維持献金	232,041
司 牧 費	7,930	ミサ聖祭献金	48,501
委員会活動費	5,664	大祝日(特別)献金	17,957
宣教広報費	4,693	(特定献金)	24,570
宣教育成費	1,038	(特別献金)	155,679
養成費	3,035	祭 式 献 金	38,896
青少年育成費	3,525	一般特別献金	64,947
新聞図書費	3,177	営 繕 献 金	18,563
会 議 費	629	建 設 献 金	28,192
行 事 費	10,601	墓地納骨堂建設献金	190
慶 弔 費	5,119	特別事業献金	4,891
援 助 費	9,481	(助成金収入)	3,514
諸団体分担費	2,739	教区助成金	
(特定献金支出)	24,987	修道会助成金	3,514
(納付金支出)	178,456	(墓地・納骨堂等収入)	6,071
教区納付金支出(A)	37,017	非課税永代使用料収入	4,248
教区納付金支出(B)	40,740	課税永代使用料収入	119
教区納付金支出(C)	49,775	管 理 料 収 入	1,216
教区納付金支出(D)	1,060	その他納骨堂等収入	488
修道会納付金支出	31,813	(補助活動収入)	6,030
建設分担金支出	18,051	(雑収入)	3,363
(運営管理費)	120,767		
(補助活動支出)	1,979		
(墓地・納骨堂管理支出)	1,368		
経常支出合計	405,576	経常収入合計	497,726
財務支出の部		財務収入の部	
(固定資産支出)	104,283	(資金運用収入)	4,494
建物附属設備購入支出	17,834	預金利息収入	3,480
構築物購入支出	6,899	受取配当収入	20
祭儀備品購入支出	5,353	信託利子収入	994
器具備品購入支出	6,994	(固定資産収入)	22,737
電話加入権取得支出	73	特別目的預金取崩収入	22,737
特別目的預金積立支出	67,130		
(固定負債支出)	4,000	(固定負債収入)	
長期借入金返済支出	4,000	長期借入金収入	
(その他の財務支出)	19,175	(その他の財務収入)	18,274
(資金調整勘定)	△5,160	(資金調整勘定)	△125
財務支出合計	122,298	財務収入合計	45,380
支出合計	527,874	収入合計	543,106
次期繰越金	15,232		
合 計	543,106	合 計	543,106

田中司教が語るエピソード(2)

▼一九八一年二月に教皇訪日がありましたね。この時のことをお聞かせ下さい。

◆そうですね。教皇訪日というところで、前年(一九八〇年)の九月から準備会を設けて用意しました。私は諸宗教の担当をしていますから、諸宗教の方々に教皇様の接見のご案内をもってそれぞれ回ったり、その他にもいろいろのことで忙しかったですね。そして、翌年二月二十三日教皇様が来られました。諸宗教の方々には次の日の午前中早い時間に会われたのですが、その時「最澄」の言葉を引用して挨拶されたのには皆、ビックリでした。改めて自分達の教えについて考えられることになったこととです。この後も教皇様は非公式とはいえ日本を代表する多くの方にあわれ過密スケジュールをこなされました。

▼心に残っていると思いますが本当に流暢な日本語でしたね。

◆そうですね。全てのスピーチを日本語でされ、それも本当に流暢な日本語でしたよ。「戦争は人間の仕業です。戦争は……」という有名なことばがありますが、それを

翌日幼稚園の子どもがまねしたくらいですからね。そしてね、これをきっかけに日本語で説教しなかった教皇大使が日本語でできるようになったんですよ。

これはアピールとは関係ないですが、広島では教皇様といっしょに食事をする機会がありました。その時、「あなたは何処の司教ですか」と聞かれ「京都です」と言う。「京都のことは天皇からも聞きよく知っています」と言っただけでさうして、他にも名古屋については、ご自分がトヨタ車に乗られているからご存じでした。そして、広島も慌ただしく動きまわりその日のうちに最終訪問地、長崎に移動しました。

▼二月二十六日長崎は大雪だったそうですね。

◆すごい吹雪でその中で殉教者のミサを松山球場で行ないました。球場は一面真っ白でした。だから、特に五島から来た人たちだったのですが船で泊まり疲れと寒さで五百人位が倒れ救急車で病院に運ばれました。教皇様も洗礼式もあつたので手がかじかみながらでしたよ。側にお湯を用意はしてしまし

たが大変な日になりました。しかし、寒さの中で長時間に及ぶミサでしたが、教皇様は寒さを吹き飛ばす熱意でミサを行なわれました。熱意ということならシスター達もすごかったですね。東京でもそうでしたが、長崎でも日頃おとなしいシスター達の熱狂ぶりはすごかったですよ。信者さん達をはねのけてました。それから、五島の人たちですが、彼らは黒船でババ様がやって来るといことを信じていたので彼らも船で来たのです。そして、この時何人かの隠れキリシ

タンの人が出てきました。教皇様はその日の夜九時に長崎からアンカレッジ経由で帰られたのですが、振り返ってみますと、教皇様の訪日は対外的にも大きなアピールになりました。マスコミもそれまではプロテスタント用語が主だったのが、カトリック用語を使うようになったり、私自身も小さい頃はカトリックの信者だから、教皇様の訪日で初めて福音宣教の自由さを感じました。

(つづく)



お知らせ

福音センターより

◆福音センター養成コース
▼祈りのコース1 29日(金)〜31日(日)。唐崎ノートルダム祈りの家。一万八千円

▼生活の中に福音を 6月20日(土)〜21日(日)。野田川ユースセンター。一万四千円

◆西院カトリック会館での行事

▼おてんとさんの会 毎火曜日13時〜16時30分。会費二百円

▼すみえ教室 第2、第4木曜日13時30分〜15時。講師|| Sr野元品子。会費二千円(二回分)と教材費

▼Srアスタの書道教室 毎金曜日13時30分。月謝三千円

▼神父が語る文化史講座 6日

(水) 10時30分。テーマ|| 野外講座・西陣の寺。資料代五百円

▼結婚講座 5月23日、6月6日、20日、7月4日、18日(土) 連絡075(822)7123

◆教区委員会より

◆部落問題委員会学習会 テーマ|| イスラエルの歴史の中の外国人。お話しヘスス・ア・ガレロンさん。16日(土) 19時。河原町会館6階。

連絡075(223)2291

イスラエルの民の外国人への対応のなから。自分の信仰を守るというその目的の手段は正しかったかどうか。神の教え(預言者たちの言葉)と実際のやり方(行動)との矛盾は……。

◆教区司祭養成のための一粒会の報告 現在、京都教区の神学生は二名です。納入下さった小教区は二件増えて三十四件となりました。ご協力ありがとうございました。昨年度の会計報告です。

収入 8,610、106円
支出 6,045、961円

差額は繰越金に繰り入れられました。

◆聖書講演会 6月21日(日) 13時30分。河原町教会地下ホール。

テーマ|| 聖霊、神と人・人と人となつて。講師|| 幸田和生師

(東京教区司祭)。五百円。主催|| 聖書委員会。連絡075(822)7123福音センター

三重地区より

◆三重県カトリック研宗館の行事

▼韓国語講座 毎木曜日10時

▼茶道教室 毎木曜日13時

▼AAグループ 毎土曜日19時

奈良地区より

◆右近こどもまつり 5日(火)

受付10時30分。顕彰式(大塚司教を迎えて) 11時。リクレーション(沢城跡登山、運動会) 12時30分。

閉会式14時30分。会場|| 奈良県大宇陀町榛原町大貝沢地区・高山右

近顕彰碑前(近鉄大阪線・榛原駅より奈良交通バス荒田野行「比布」下車、徒歩15分)。雨天の場合は、

比布体育館に集合。問合せ0744(22)3855大和八木教会

◆ポランティア養成基礎講座 15日(金) 10時〜11時30分。田辺教会。テーマ|| グループ作り。講師

|| 広岡洋子先生。参加費|| 八百円。主催|| カトリックポランティア奈良連絡会。連絡0742(47)

1298西原エツ子

◆奈良カトリック協議会 17日(日) 14時〜16時。大和郡山教会

◆ファミリアデー・ミサのための典礼担当者会議 17日(日) 16時

〜18時。大和郡山教会

◆奈良正平協学習会 テーマ|| 滞日外国人について。17日(日) 14

時。西大和カトリックセンター

◆奈良県結婚互助会 17日(日)。大和高田教会

滋賀地区より

◆安土セミナリオ記念ミサ 24日

(日) 13時30分

京都北部地区より

◆京都北部カトリック協議会総会報告

去る3月15日、京都北部カトリック協議会総会を宮津ルラーブ会館で開催し、京都北部の十一小教区信徒代表・修道者・司祭達が、共に昨年度の行事・活動内容等の反省と一九九八年度の役員、活動計画の審議を行い承認された。

会長|| 伊藤武志(西舞鶴)。副会長|| 黒田正(加悦)。事務局|| 高橋慎治郎(東舞鶴)、由良正(福知山)。助言司祭|| 大松正弘師

(西舞鶴)、谷口秀夫師(宮津)。行事、活動計画の詳細は4月19日の常任委員会(各小教区信徒二名、修道者、司祭)において審議する。

◆ガラシア祭・京都北部地区合同堅信式 10日(日) 10時30分。弥

栄町味土野

京都南部地区より

◆朝禱会 毎火曜日7時〜8時。

河原町教会。食事及び雑費|| 三百円。

◆教会の祈りと聖体賛美式 3日

(日) 17時30分。河原町教会

◆京都マック八周年記念セミナー

- 5日(火)10時。衣笠教会
 ◆親睦二金会 8日(金)10時
 13時。西陣教会。会費五百円
 ◆都の聖母奉賛ミサ 10日(日)。
 將軍塚
 ◆SVP例会 10日(日)13時。
 河原町教会。
 ◆河原町教会堅信準備要理 10日、
 17日、24日(日)
 ◆のぞみの園ボランティア講座
 16日(土)13時30分～16時。のぞ
 みの園。講師＝古川泰龍老師。テ
 マ＝死は救えるか。無料。主催＝
 のぞみの園ボランティア。連絡0
 75(662)3961渡辺
 ◆親交会例会 17日(日)11時の
 西院教会ミサに出席。後懇談
 ◆在世フランスシスコ会京都兄弟会
 例会 17日(日)13時30分。フ
 ランススコの家
 ◆一万匹の蟻運動理事会 20日
 (水)。河原町会館
 ◆家族の集い・ミニバザー 24日
 (日)9時30分。西陣教会
 ◆子羊会黙想会 24日(日)。ウイ
 チタ聖ヨゼフ本部修道院
 ◆SVP施設訪問 24日
 ◆京都キリシタン研究会例会
 日(日)14時。河原町会館
 ◆藤堂師追悼式 24日(日)9時。
 九条教会

- ◆棘みその会 28日(木)19時45
 分。九条教会
 ◆コロクチエレステ練習日 第2、
 第4木曜日10時～12時。河原町教
 会地下ホール
 ◆黙想会 6月13日(土)17時～
 14日(日)13時。カルメル会宇治
 黙想の家。テーマ＝アガベ(愛)。
 指導＝奥村一郎師。対象＝一般男
 女。六千円。申込＝6月5日まで
 に電話045(321)0500

大阪教区より

- ◆英知大学カトリック研究講座
 「キリスト教の真理とその実践」
 12日、19日、26日(火)18時～19
 時30分。テーマ＝神の恩恵と救い。
 講師＝ボナツィ師。一講座(三回)
 千六百円。会場＝北野教会(大阪
 市北区豊崎3-12-8)。問合せ
 06(491)5000英知大学
 ◆英知大学生涯学習講座「現代に
 生きる―宗教・倫理・心理・教育」
 12日(火)13時30分～14時50分。
 テーマ＝「大震災の遺産」―追跡
 調査から考える。講師＝St高木慶
 子。15時～16時20分。テーマ＝日
 本の教育の行方―青少年をどう育
 てるのか。講師＝三浦朱門氏。受
 講料＝一般千円、学生五百円。会
 場＝英知大学(尼崎市若王寺2-
 18-1)。問合せ06(491)
 5000英知大学

日本カトリック研修センター

- ◆青少年とカトリックの信仰 6
 月12日(金)～14日(日)指導＝
 大阪教区生涯養成委員会。二万千
 円。三十名。
 連絡052(831)5037

その他

- ◆ボランティア募集 バザー、憩
 いの部屋、野外プログラム、巡回・
 訪問、配食サービスのボランティア
 アを募集しています。連絡075
 (691)5615希望の家
 ◆一万匹の蟻運動総会報告
 去る3月15日に定例総会が開か
 れました。
 ▼役員名簿 顧問＝田中司教、大
 塚司教、村上真理雄師。理事長＝
 橋本泰爾さん(安曇川)。副理事
 長＝森田直樹師、入江一男さん
 (伏見)。常務理事＝山野一さん
 (長岡)、松尾昭三さん(伏見)、
 柴田敦代さん(宇治)、辻井芳一
 さん(河原町)。理事＝松浦史郎
 さん(田辺)、米津富造さん(桂)。
 監事＝能勢慎さん(桃山)、小寺
 義明さん(園部)
 ▼基金報告(3月18日現在)
 累計18,450、172円
 加入者 862名
 ◆電話番号情報コーナー
 ▼いのちの電話(相談窓口)
 075(864)4343
 0742(35)1000
 052(971)4343
 ▼京都市東九条在宅介護支援セン
 ター(24時間体制)
 075(662)3971
 ◆点訳版「京都教区時報」発刊
 点訳ネット「レジナ」の協力で、
 「京都教区時報」の点訳版を24
 6号(5月)からお届けできるこ
 とになりました。
 ご希望の場合は、住所、氏名、
 電話、必要部数を左記までご連絡
 お願いします。直接お送り
 します。紙代、送料とも無料です
 (紙代は教区負担)。小教区等でも
 けっこうです。
 また、「レジナ」に加入してパ
 ソコン点訳に協力をお考えの方も
 左記までお問合せください。
 〒675-0057加古川市東神
 吉町神吉608の75
 点訳ネット「レジナ」嶽崎(たけ
 ざき)裕子
 TEL・FAX
 0794(31)8601

報 告

◆5月の教区スケジュール

5日(火) 右近こどもまつり顕彰式・大塚司教司式11時
(榛原町右近顕彰碑前)

7日(木) 司祭評議会10時30分

10日(日) ガラシア祭・京都北部地区合同堅信式10時30分
(味土野)

13日(水) メリノール宣教会総会
ミサ・大塚司教司式
(メリノールハウス)

14日(木) 司教顧問会

17日(日) イエスの小さい姉妹の友愛会創立者シスター・マドレーヌ生誕百周年記念ミサ・大塚司教司式10時30分
(桃山教会)

17日(日) 聖母学院藤森キャンパス創設五十周年ミサ・大塚司教司式14時30分

20日(水) 21日(木) 大塚司教聖書講座講師(西院会館)

24日(日) 安土セミナリオ記念ミサ・滋賀地区合同堅信式13時30分(安土セミナリオ跡)

26日(火) 27日(水) 大塚司教・修道会宣教会総長、管区長合同集会

28日(木) 司祭全体集会10時30分
(メリノールハウス)

31日(日) 京都南部地区合同堅信式10時30分(河原町教会)

◆地区合同堅信式について

「聖霊の年」である今年、各地区単位での合同堅信式が予定されています。今年は、合同堅信式以外の堅信式の予定はありません。

▼6月の予定

14日(日) 奈良地区合同堅信式14時(野外礼拝センター)

21日(日) 三重地区合同堅信式10時(四日市教会)

◆教区合同洗礼志願式の報告

去る3月1日、河原町教会におきまして、教区合同洗礼志願式が行われ、四十名の志願者を含め、約百五十名の方が参加されました。皆様方の御協力を感謝致します。

(準備会代表司祭・ザーン、村上真理雄、浅田年生)

◆編集後記

今月より、青年のコーナーである「あんでな」の記事を8頁に掲載し、お知らせは6頁、7頁に掲載することになりました。

お知らせに載せたい情報は、6月号でしたら5月4日までに、7月号でしたら6月1日までに、FAX077(527)6800に

お願いします。

出会いを求めて

青年センター専従者 高橋 麻矢

春は出会いと別れの季節とよくいわれます。私も、この四月から青年センターの仕事にさせていただきます。今年、これからの出会いを楽しみにしています。

皆様始めまして、青年センターの専従者となります高橋麻矢です。なにしろ右も左も分からない私ですが、充実した一年間にしたいと考えています。皆様御指導御鞭撻の程宜しくお願い致します。

私が青年センターや専従者の存在を知ったのは、約二年前、地元三重県の教会の青年部活動に参加するようになり、LOO K A T M E で他府県の青年達の活発さに触発され、『あみい〜』なるものを結成していた頃です。

それまで、他府県どころか、同じ県内の他教会の青年達とですら、ほとんど交流のなかつた私にとって、青年センターは新鮮なもの

あんでな



◆青年センター会館時間
日・月・金曜日 14時〜18時
水・木曜日 15時〜20時
火・土曜日・祝日 休館
連絡075(822)6246